



かねひら だいち さん/平成13年12月生まれ/津別町役場勤務

青春

くろ-ずあつぷ

兼平大地さんは、津別町で生まれ育ちました。北見北斗高校に進学し、野球部に所属していました。野球は小学3年生から続けており、ポジションはピッチャーで、北北海道大会にも出場しました。

その後、文科大学健康栄養学部管理栄養学科に進学。料理や食事が好きなことを理由に管理栄養士を志望します。大学でも野球部に所属し、全国大会出場。勉強面でも国家資格である管理栄養士に見事合格します。

卒業後は資格を活かし、食事の面で地元の方たちの健康をサポートしていきたいという思いがあり、就職時期に役場の管理栄養士の求人を見て志望しました。現在の仕事内容は、離乳食教室や集団検診の結果から食事改善のサポートを行っています。

「自分の献立や食事改善を受け、変化がみられることが嬉しいです」と語ってくれました。趣味は料理で、休日は家族に手料理を振舞っているそうで、イタリアン料理が得意だそうです。

温故知新

【550】

婦人部活動が交流の源

西山 幸子 さん



にしやま さちこ さん/昭和10年3月、大空町生まれ/89歳/達美在住

西山幸子さんは5人兄妹の末っ子として女満別町(現大空町)の稲作農家に生まれました。高校を卒業後は、家業の稲作の手伝い、青年団活動に勤しみま

す。夫の健さんとはその活動で出会い、上司の紹介もあって、畑作農家へ嫁ぐこととなりました。

「初めは知り合いのいな

んな幸子さんは、町や農協の活動にも積極的に参加し、徐々に交友関係を広げていきました。30歳の頃には、幸子さん発案の「若妻会」をつくりま

す。「若妻会」とは町内の農家へ嫁いできた女性達を集めた会で、当時は、仕事や家事に追われ、女性同士で交流する機会が少なかった

ため、自分と同じ境遇だった女性達を想い、交流の場をつくったそうです。「人の気持ち

がわかる人間になれ」という父の教えのを肝に銘じ、現在でも婦人部OG会の「すみれ会」に所属しており、70代から最年長95歳の方たちと交流しています。今でも続



津別町のごみ 2024

現在インターネットで公開中! 町のHPをご覧ください

人間が生活する上で必ず出る「ごみ」。津別町では毎年およそ1100トンものごみが出されています。津別町では有料ごみとして「燃やすごみ」「埋めるごみ」「生ごみ」「粗大ごみ」を、無料で各種資源ごみを回収しています。リサイクル率は約43% (日本のリサイクル率は20% <令和2年度> 出典:環境省)。資源ごみのリサイクルの現場では、人の手による選別が行われています。

私たちが出すごみは最終的にどうなるのか?それぞれの現場取材しました。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、ウッドルーム(大通棟)、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

暮らしを支える

税

町税の納税通知書は届いていますか

4月に令和6年度固定資産税および軽自動車税種別割、6月は町道民税および国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、第1期の納付月です。◆納期限は7月1日(月)です。※口座振替をご利用の方は、引落口座の残高の確認をお願いします。

◆6月は「町道民税」「国民健康保険税」「介護保険料」「後期高齢者医療保険料」第1期の納付月です。◆納期限は7月1日(月)です。※口座振替をご利用の方は、引落口座の残高の確認をお願いします。

問い合わせ先
税務収納係10番窓口
☎77-8376